

事務事業評価シート

事業番号	10					
事業名	文化芸術発表・交流活動支援事業費	局名	企画市民局			
		部名	市民部			
事業開始年度	平成19年度	課名	文化振興課			
根拠法令等	相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則	課長名	田中俊和			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施					
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： ）					
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金（補助先： 補助先：補助金の交付を申請し、採択された団体 ）					
	<input type="checkbox"/> その他（ ）					
事業概要	目的 (何のために)	市民に自主的で創造的な文化芸術活動の発表及び交流の機会を提供する				
	対象 (誰・何を対象に)	次の要件を満たす団体 (1) 15歳以上の者かつ5人以上で構成され、その過半数が市内在住者(市内に在勤・在学する者を含む。)である団体。 (2) 構成員が18歳未満の者のみの団体は、保護者、指導者等が申請人であること。 (3) 政治的又は宗教的な活動を行う団体でないこと。 (4) 法令に違反する活動を行う団体でないこと。				
	事業内容 (手段・手法など)	次の要件をすべて満たす事業において、予算の範囲内で会場使用料及び会場の附帯設備、備品等の使用料の2分の1以内(上限8万円)を補助する。 (1) 市民の自主的で創造的な文化芸術活動の発表及び交流の機会となる事業であること。 (2) 市民一般に公開される事業であること。 (3) 公共的、公益的な事業であること。 (4) 営利を目的とした事業でないこと。 (5) 政治的又は宗教的な事業でないこと。 (6) 市内の施設を会場とした事業であること。 (7) 国及び地方公共団体若しくはその外郭団体による他の補助制度の対象とならない事業であること、又はそれらの団体との共催事業でないこと。 (8) 施設使用料等が、他の法令等により納めるべき金額から減額されていないこと。 (9) 法令に違反する事業でないこと。				
	事業の必要性	本市の文化・芸術を振興していくためには、文化芸術に触れる機会の充実とともに、市域において市民が自ら企画し、参画する文化芸術活動が活発に行われる必要がある。しかしながら、市民が自らの文化芸術活動の成果を発表し、交流する場を確保するためには、一定の負担が生じており、こうしたことが文化芸術の発表・交流活動の妨げとなっている。 ゆえに、市民の自主的で創造的な文化芸術活動を一定の基準に基づいて選考し、補助することにより、市民の文化芸術活動を活性化していく制度が必要である。				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		2,619 千円	2,187 千円	2,328 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	0.05 人	0.08 人	0.08 人
			概算人件費	373 千円	581 千円	581 千円
		嘱託職員・臨時職員等	従事者数	人	人	人
			概算人件費	千円	千円	千円
	人件費 合計		373 千円	581 千円	581 千円	
総事業費		2,992 千円	2,768 千円	2,909 千円		
市民一人あたりの事業費		0.00 千円	0.00 千円	0.00 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	0千円	0千円	0千円	
	受益者負担金	0千円	0千円	0千円	
	その他()	0千円	0千円	0千円	
	一般財源	2,619千円	2,187千円	2,328千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	選考委員会委員謝礼			28千円	
	事務作業等委託			200千円	
	事業補助金			2,100千円	
千円					
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	採択事業件数	件	23	31	33
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	130.1	89.3	88.2
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	補助金交付金額	千円	2,154	1,960	1,969
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)	千円	1.4	1.4	1.5
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	文化芸術に携わる市民の増加				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	採択事業参加者数	人	18,000	20,700	23,000
	申請事業件数	件	42	44	33
特記事項 (事業の沿革等)	事業の委託については、相模原市民文化財団の自主事業とすることを最終目標とし、業務の一部を財団に委託している				
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	本事業が多彩な市民文化活動の活性化に寄与していくためには、文化芸術団体のニーズの把握などを行い、より効果的な事業となるよう検証を行う必要がある。また、文化芸術に携わる市民を増やすために、本補助制度や採択事業の周知を積極的に図っていききたい。				
評 価	《評価の視点》	・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
		・ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない			
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》 市民に文化芸術活動の発表・交流の機会を提供する事業として、一定の役割を果たしている。 今後は、より広い周知に努め、さらに多くの団体への支援が実施できるよう見直すとともに、より具体的な選考基準の検討を進めることとする。				
H24年度 予算への反映	必要に応じて予算計上する。				
経営評価委員会 による意見	○見直し 特定の団体への助成になることがない様、選考基準を明確化するとともに、補助金の充当内容を適格に検証する必要がある。				